

清水病院経営計画（平成27年度取組状況）

資料 3

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	平成27年度 取組状況	評価	実施課
【第一の柱】 「医療スタッフの人材確保と育成」	医師の増員	常勤医師の増員 集中治療室稼働にあわせ、常勤医を3名増員する。 応援医師での対応を余儀なくされている診療科、特に平成26年度に常勤医の退職により縮小した循環器内科及び腎臓内科を中心に、平成28年度から平成30年までの3年間で合計8人の医師増員を目指す。	平成27年度～平成30年度	常勤医3名増員	集中治療室稼働にあわせ常勤医1名の増員		病院総務課
		初期臨床研修医の受入枠の拡充	初期臨床研修プログラムを見直し、初期臨床研修医（医師免許取得後2年間）が充実した研修を行える環境を整備し、受入枠を平成27年度から2名から5名に増員して積極的に受け入れていく。	平成27年度	受入枠を5名に拡大 初期研修医1名以上確保	県との調整により受入枠5名に拡大 初期研修医3名の受入が決定	教育研修・病院事業管理室
		指導医及び専門医の資格維持及び取得の支援	平成29年度頃から段階的に後期研修医が全国的に増加する。平成29年度からは「新たな専門医制度」の開始も予定されており、指導医及び専門医の資格維持及び取得を支援し、若手医師が働きやすい環境を整える。	平成27年度～	指導医・専門医の資格取得・更新	各学会への参加の支援 （専門医資格取得試験受講者3名）	教育研修・病院事業管理室
		医学生修学資金貸与制度の創設	将来、当院で診療業務に従事する意思を有している医学生を対象とした修学資金貸与制度を創設し、研修医等の確保に努める。	平成27年度	貸与人数4名	修学資金貸与制度を活用し4名に貸与	教育研修・病院事業管理室
		医師の研究・技術向上の支援	医師教育研究制度を活用し関連医局で医療技術の知識や技術の習得 平成26年10月より開始した、関連医局や大学病院での研究活動を行うことができる医師教育研究制度を活用して、後期研修医などの若手医師が毎月1回程度関連医局などへ出向き、症例数の少ない医療技術の知識や技術を習得するとともに、医局との連携を深め、医局からの医師の派遣をしやすい環境を整備する。	平成27年度～	研究制度の活用	制度活用 延12件	病院総務課
	シミュレーション機器の購入・充実を図る。	若手医師の医療技術向上のため、気道確保・気管挿管トレーニング、縫合・穿刺手技、内視鏡手術実習などのシミュレーション機器の購入・充実を図る。	平成27年度	シミュレーション機器の導入	各診療科に必要なシミュレーション機器のヒアリング、デモ機による操作研修を実施 必要な機器の選定（除細動器やシミュレーター用鉗子など）	教育研修・病院事業管理室	

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	取組状況	評価	実施課
	医師事務作業補助者（医療秘書）を5名程度増員	医師業務の負担軽減を図るとともに、医師が治療行為に専念できる体制を整えるため、医師事務作業補助者（医療秘書）を5名程度増員し、20対1配置を目標に確保・育成していく。	平成27年度～平成30年度	医師事務作業補助者の増員	H27. 3月 17名 30対1体制 H27. 10月 23名 25対1体制		医事課
リクルート活動の強化	関連医局との連携強化	関連大学医局との連携を強化するため、病院長をはじめ診療科長の医局訪問を積極的に実施する。	平成27年度～	医局訪問	2大学の医局に計6回の訪問を実施		病院総務課
	幅広い人材募集・確保	医師や看護師の派遣紹介会社と契約を結び、全国から幅広く人材を募集・確保する。	平成27年度～	契約の締結	4社の斡旋会社と契約締結 紹介件数6件		教育研修・病院事業管理室
組織の設置	教育研修・病院事業管理室の設置	医療の質の向上と医療スタッフの育成による院内活性化を図るため、診療部幹部職員を責任者とし、医療情報収集や分析、院内臨床指標の作成や公開、院内研修等の企画実施、臨床研修プログラムの作成、学生や実習生の教育指導などを行う教育研修・病院事業管理室を設置する。	平成27年度	教育研修・病院事業管理室の設置	教育研修・病院事業管理室を設置		教育研修・病院事業管理室 病院総務課
女性医師・看護師等の就労支援と離職防止	院内保育所の機能充実策の検討	女性医師や看護師等が働きやすい環境の改善を図るため、院内保育所の夜間保育拡充等の機能充実策を検討する。	平成27年度～	機能充実策の検討	担当内で充実策を検討中		病院総務課
	職場環境改善に関するアンケートの実施	看護職員に対して職場環境改善に関するアンケートを、退職予定者には退職理由のアンケートを行い、現状把握をしたうえで、勤務体制や処遇改善等の離職防止改善策を検討し、離職率を10%以下に抑える。	平成27年度～	離職率10%以下	教育研修・病院事業管理室と協力しアンケート調査を計画		看護部
	離職した看護師への声かけ	離職した看護師に対し積極的に声かけをおこない、再就職を促すとともに、勤務時間の自由がきくパート看護師の確保を進めていく。	平成27年度～	パート看護師の採用	助産師・看護師募集への協力を全スタッフへ呼びかけ 2名の再就職		看護部
	看護職員の負担軽減	看護職員の負担軽減のために、看護補助員の業務を明確化するとともに、継続的に増員を図る。	平成27年度～	看護補助員の増員	H27年9月末時点 49名 (H27. 3月末時点 49名) (H27. 4月以降 採用4、退職4)		病院総務課
病棟薬剤師の配置	病棟薬剤師の配置	薬物療法の高度化が進み、医療の質の向上や医療安全の観点から病棟薬剤師の配置が必要となっている。入院患者への服薬指導や処方薬管理の充実を図り、副作用発見、服薬に関連した事故防止、医師・看護師の負担軽減のために、平成27年4月から各フロア1名、計5名の病棟薬剤師を配置を目指していく。	平成27年度～	病棟薬剤師5名の配置	採用試験を3回実施し、平成28年4月1日採用予定者を3名確保		病院総務課

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	取組状況	評価	実施課															
	リハビリテーションスタッフの増員（再掲）	今後、リハビリテーションが必要な患者の増加が見込まれ、自院のみならず他医療機関からの患者受入の需要も高まることが予想される。リハビリテーション機能の充実を図るため、リハビリテーションスタッフを増員する。	平成27年度～	（再掲） リハビリスタッフ6名増員	（再掲） リハビリスタッフ6名確保 リハビリ強化のため引き続き理学療法士、作業療法士の採用試験を実施（10月17日）		病院総務課															
	地域包括ケア病棟の設置	他の医療機関からの転院も含め急性期後の患者受入、在宅復帰の支援、在宅患者の緊急時受入に対応できる医療体制を確保するため、地域包括ケア病棟を平成27年度に新設する。	平成27年度～	地域包括ケア病棟の新設	4B病棟35床を地域包括ケア病棟として開設		医事課															
	地域ケアマネージャー室の設置	地域包括ケア病棟内に地域ケアマネージャー室を設置し、病院職員とケアマネージャーとの連絡、連携を密にし、在宅復帰に向けた支援を行う。	平成27年度～	地域ケアマネージャー室の設置	ケアマネージャー室を11月に設置予定		病院施設課															
【第三の柱】 「地域連携の推進と安心・安全な医療の提供」	地域連携の推進	紹介率の向上 地域医療支援病院としての機能を維持・強化し、紹介率を向上させる。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率（%）</td> <td>51.0</td> <td>52.0</td> <td>53.0</td> <td>54.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率（%）</td> <td>87.0</td> <td>87.0</td> <td>87.0</td> <td>87.0</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	紹介率（%）	51.0	52.0	53.0	54.0	逆紹介率（%）	87.0	87.0	87.0	87.0	平成27年度～	紹介率 51.0% 逆紹介率 87.0%	紹介率53.5% 逆紹介率85.7% (H27年8月末現在)		医事課 地域医療支援室
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																	
	紹介率（%）	51.0	52.0	53.0	54.0																	
	逆紹介率（%）	87.0	87.0	87.0	87.0																	
		病診連携の推進	医師会との定期的な協議会の開催、オープンベッドの利用、地域連携バスの運用、研修会等の周知などにより、病診連携を推進する。	平成27年度～	協議会の開催	協議会を開催（6月19日） 清水医師会9名、当院医師等9名出席		地域医療支援室														
	地域の医療機関との連携	地域の医療機関と連携を強化し、退院患者のケア情報や地域の介護・福祉施設等の状況など幅広い情報の交流に努める。	平成27年度～	関係機関との情報交換会の実施	清水病院医療・介護・福祉連携協議会を発足 第1回協議会を6月30日開催		地域医療支援室															
	医療ソーシャルワーカーの増員	退院支援など医療福祉相談業務を強化し、患者の在宅復帰への促進を図るため、医療ソーシャルワーカーを増員する。	平成27年度～	医療ソーシャルワーカーの増員	来年度以降の採用計画を検討中		病院総務課															
	医療安全対策の実施	安心・安全な医療提供	院内のインシデント・アクシデントや院外からの有用な情報などを収集・分析・活用し、医療スタッフへ迅速にフィードバックすることによって、より安心・安全な医療を提供していく。	平成27年度～	医療安全管理委員会の開催	医療安全管理委員会： 5回（8月除く毎月）開催 医療安全カンファレンス： 22回（週1回程度）開催		医療安全管理室														
	患者の安全確保	患者の安全確保のために、医療スタッフ個人レベルでの事故防止、組織全体としてシステム改善に取り組んでいく。また、医療安全指針やマニュアルについて、定期的に見直しを図っていく。	平成27年度～	医療安全指針やマニュアルの見直し	医療安全管理指針、医療安全管理マニュアル等について、法改正等を踏まえて見直し、改訂作業の実施		医療安全管理室															

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	取組状況	評価	実施課
	医療安全に関する研修会の開催	医療安全に関する研修会を定期的に開催し、職員の医療安全に対する意識をさらに高めていく。	平成27年度～	医療安全研修会の開催	全職種対象：2回開催 新人職員対象：7回開催 全看護師対象：1回開催 ※年度末まで計画的に開催予定		医療安全管理室
院内感染防止対策の実施	院内感染防止対策の推進	様々な職種の職員で組織するチーム（ICT：感染制御チーム）で、臨床、施設設備など院内の環境チェックや感染防止対策の実施状況の確認などを行い、組織全体で情報の共有化を図り、院内感染防止対策を推進していく。	平成27年度～	委員会の実施 ICTによる院内巡回	委員会・・・月1回（6回開催） ICT巡回・・・5チームが月1回約2部署を巡回（57部署巡回済）		院内感染対策室
	全職員を対象とした感染防止対策に関する研修会の開催	全職員を対象に、地域の医療関係者も招いて毎年研修会を開催し、院内感染防止対策の基本的考え方や最新の具体的方策について共に学び、地域全体として安全な医療を提供できるよう、院内感染の防止に努めていく。	平成27年度～	感染防止対策研修会の開催	年3回の研修会を予定 第1回を5月に開催済 第2回を10月に開催済 第3回を2月から3月に予定		院内感染対策室
災害拠点病院としての医療体制の充実	DMAT（災害派遣医療チーム）の登録	新たに、DMAT（災害派遣医療チーム）もう1チームの登録追加を目指す。	～平成30年度	登録追加の検討	新規メンバー及び研修への参加を検討		病院総務課
	市民と協働での地域防災訓練の実施	市民と協働での地域防災訓練や市民への啓発活動を実施することで、発災時の自助・共助・互助の精神を養う。	平成27年度～	地域防災訓練の実施	地域防災訓練を実施予定（12月6日） 「地域で取り組む災害医療PART1」と題した市民健康講座を実施予定（11月7日）		病院総務課
	災害発生時の再生の整備	災害発生時において診療対応が可能となるよう、3日分程度の燃料を確保し、自家発電機で電力供給ができる体制を整備する。	～平成30年度	整備内容の検討	燃料3日分程度確保の方法について平成27年度末までに具体案を策定し、平成30年度までに整備		病院施設課
患者満足度の向上	患者さんによる医療サービスに対する評価、要望の把握	患者さんによる当院の医療サービスに対する評価、要望を把握し、患者サービスの向上及び経営の改善を図る。	平成27年度～	アンケート調査の実施	H27.11月～12月 患者満足度調査実施予定		医事課
医療情報の発信	市民健康講座の開催	市立の公的病院として、市民を対象とした健康や疾病予防等に関する講座開催などを通じて、正しい医療情報の発信と普及を図り、市民に身近な病院を目指す。	平成27年度～	市民健康講座の開催	第1回市民健康講座『認知症を知ろう』を開催（7月25日） 「地域で取り組む災害医療PART1」と題した市民健康講座を実施予定（11月7日）		医事課 病院総務課

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	取組状況	評価	実施課																			
【第四の柱】 「病院施設の維持と機能向上」	病棟の改修	施設改修による入院環境の改善 経年劣化による漏水等の事故が発生しており、病棟の給排水設備の改修が急務となっている。そのため、一病棟を休床しながら計画的に順次病棟改修を行っていく。あわせて、病棟の内装を更新し、入院環境の改善による患者サービスの向上を図る。	平成27年度～	実施設計委託の実施 1病棟の改修	病棟改修実施設計委託業務 4A病棟改修着手 11月中旬完了予定		病院施設課																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>H32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>1棟改修</td> </tr> </tbody> </table>	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実施設計						1棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	1棟改修						
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																					
実施設計																										
1棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	1棟改修																					
	施設の長寿命化	予防保全による老朽化対策で、無停電電源装置(CVCF)・外壁・屋上防水の改修等を行い、建物の長寿命化を図る。	平成27年度～	無停電電源装置の改修	無停電電源装置改修着手 3月完成予定		病院施設課																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">← CVCF更新 →</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">← 外壁改修 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">← 屋上防水改修 →</td> </tr> </tbody> </table>	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	← CVCF更新 →						← 外壁改修 →					← 屋上防水改修 →							
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																						
← CVCF更新 →																										
	← 外壁改修 →																									
	← 屋上防水改修 →																									
	駐車場の確保と整備	駐車場の確保と整備 利用者の利便性を図るため、第一駐車場の拡充及び第二駐車場の拡幅整備を検討・実施する。	～平成30年度	駐車場拡幅整備の検討	第一駐車場 次年度以降整備予定 第二駐車場拡幅整備完了 平成27年度 10月拡幅整備完了		病院施設課																			
【第五の柱】 「収支の改善」	医療スタッフの人材確保(再掲)	常勤医師の増員 医師が働きたいと思う環境の整備やリクルート活動の強化などにより平成30年度までに常勤医師を11名増員し、診療収入の増を目指す。	平成27年度～	(再掲) 常勤医3名増員	(再掲) 集中治療室稼働にあわせ常勤医1名の増員		病院総務課																			
		リハビリテーションスタッフの増員 平成27年度にリハビリテーションスタッフを6名増員することによる診療単価の向上と、他の医療機関からの転院を含めたリハビリテーションが必要な患者の受け入れにより、病床利用率の向上を図る。	平成27年度～	(再掲) リハビリスタッフ6名増員	(再掲) リハビリスタッフ6名確保 リハビリ強化のため引き続き理学療法士、作業療法士の採用試験を実施(10月17日)		病院総務課																			
		薬剤師の増員 薬剤師5名の増員を目指し、各フロア1名の病棟薬剤師を配置していく。	平成27年度～	(再掲) 病棟薬剤師5名の配置	(再掲) 採用試験を3回実施し、平成28年4月1日採用予定者を3名確保		病院総務課																			
		病床機能の再編(再掲) 病棟専従者の配置 集中治療室の整備や地域包括ケア病棟の開設、リハビリテーションスタッフなどの病棟専従者の配置により、診療収入の増を図る。	平成27年度～	(再掲) 集中治療室開設 地域包括ケア病棟の新設	(再掲) H27.4月より集中治療室開設 4B病棟35床を地域包括ケア病棟として開設		病院総務課																			

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	取組状況	評価	実施課
	病棟の機能分化及び連携	地域住民が地域において必要な医療を適切に受けられるよう、高度急性期から一般急性期や回復期、さらに在宅復帰を支援する病床に再編し、病棟ごとに機能分化及び連携させることで、病床を効果的に運用し、各病棟の病床利用率をあげていく。	平成27年度～	(再掲) 病棟再編 集中治療室開設 地域包括ケア病棟の新設	(再掲) 平成27年度4月より開設 4B病棟35床を地域包括ケア病棟として開設		医事課
	他の医療機関からの受入	他の医療機関からの急性期後の患者や在宅患者を積極的に受け入れ、患者増に繋げていく。	平成27年度～	(再掲) 紹介率の向上	(再掲) 紹介率53.5% 逆紹介率85.7% (H27年8月末現在)		医事課
高度医療機器の計画的整備(再掲)	医療機器の更新・増設	地域の基幹病院としての機能を強化し、地域医療ニーズに応えるために、高度医療機器を計画的に更新・増設する。MRI増設などにより、収入増に繋げていく。	平成27年度～	(再掲) ガンマカメラ・ 教育研修機器の 購入	(再掲) ガンマカメラについては、契約を締結 教育研修機器については、順次購入手 続を進めており、平成28年1月までに 納入の予定		病院施設課
材料費の削減	実態の把握と使用ルールの徹底	材料等の破損・廃棄薬品などの実態を把握し、使用ルールの徹底によるコスト削減を図る。	平成27年度～	材料費の削減	各診療科ごとの使用実績を分析し コスト削減を検討		病院施設課
	後発医薬品の採用の推進	後発医薬品の採用を推進し、薬品費の削減を図る。	平成27年度～	後発医薬品の採用	変更可能な後発医薬品について、 順次、薬事委員会で審議し、採用		病院施設課
	SPD導入の適否の検討	SPD導入の適否について、他医療機関の事例を参考に検討する。導入により情報の一元化、材料費の節減、管理コストの低減を図る。	平成27年度～	SPD導入の適 否の検討	SPDの内容や、他病院の状況、 事例について、調査中		病院施設課
未収金対策の強化	収納率の向上	徴収員や徴収委託会社による滞納抑制を図るとともに、新たな収納案内や収納方法の導入により、患者サービスの向上と収納率向上を図る。	平成27年度～	収納率	月に2日程度、夜間電話催告の 実施		医事課
適正な診療報酬の請求 (プロパー職員の育成)	診療報酬算定項目の確認	診療報酬上算定可能な項目のシステムチェックや対象リストによる確認等を実施し増収を図る。	平成27年度～	保険委員会による チェックの実施	院内多職種による保険委員会を毎月開催し、ケーススタディを実施		医事課
	業務に精通したプロパー 職員の採用の検討	医事担当職員は高度な専門的な知識や医師との情報共有が求められるため、業務に専任可能で精通したプロパー職員の採用を検討する。	平成27年度～	プロパー職員の 採用の検討	診療情報管理士の採用試験を7月15 日に実施し、採用予定者1名を確保		病院総務課
その他		月次での原価計算及び経営分析を行い、医療現場へ迅速なフィードバックと早急な経営改善等への対応を図る。	平成27年度～	原価計算及び経 営分析の実施	原価計算データ分析中		病院総務課 医事課

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	取組状況	評価	実施課	
			病院の管理する資金について、安全性や流動性を確保しつつ、可能な限り定期預金や債券購入等により効率的な資金運用を行う。	平成27年度～	資金運用の実施	引合による資金運用を行った		病院総務課

収支改善目標

(1) 医療スタッフの増員目標 (単位:人)

	H27計画	H27上半期
医 師	3	1
薬 剤 師	5	0
リハビリテーション	6	6

(2) 入院収益の目標 (病棟別)

①一般病棟

指標 \ 年度	H27計画	H27上半期
病 床 数	390	341
病床利用率 (%)	81.0	76.2
年 間 患 者 数	115,600	47,548
入院単価 (円)	51,000	52,954
診療収入 (千円)	5,895,600	2,517,851

②集中治療病棟

指標 \ 年度	H27計画	H27上半期
病 床 数	6	6
病床利用率 (%)	70.0	54.5
年 間 患 者 数	1,540	598
入院単価 (円)	65,900	93,726
診療収入 (千円)	101,486	56,048

③回復期リハビリテーション病棟

指標 \ 年度	H27計画	H27上半期
病 床 数	44	44
病床利用率 (%)	88.0	80.8
年 間 患 者 数	14,200	6,509
入院単価 (円)	28,500	27,892
診療収入 (千円)	404,700	181,546

④地域包括ケア病棟

指標 \ 年度	H27計画	H27上半期
病 床 数	35	35
病床利用率 (%)	55.0	59.9
年 間 患 者 数	7,000	3,834
入院単価 (円)	28,600	32,545
診療収入 (千円)	200,200	124,775

(3) 外来収益の目標

指標 \ 年度	H27計画	H27上半期
診療日数 (日)	243	123
外来患者数 (人)	199,300	93,300
外来単価 (円)	11,800	12,273
診療収入 (千円)	2,351,740	1,145,046

(4) 材料費の目標

指標 \ 年度	H27計画	H27上半期
材 料 費 率	21.8	21.5
薬 品 比 率	13.4	14.1
診療材料比率	8.3	7.1

(5) 紹介率・逆紹介率

指標 \ 年度	H27計画	H27上半期
紹 介 率 (%)	51.0	54.0
逆 紹 介 率 (%)	87.0	85.8